

## 「なぜ」を深める科学的思考文化の浸透

西条高校は、平成30年度から5年間、文部科学省が指定するSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に選ばれました。「なぜ」を深める科学的思考文化の浸透を重点目標として教育活動を行っています。

1年生全員が取組んだ、プレ課題研究発表会の様子を紹介します。西条市の課題を中心に、様々な分野の研究をグループで行いました。各班とも研究結果をポスターにまとめ、発表しました。

### プレ課題研究クラス発表会

1月24日と27日に各クラスで行いました。基礎科学セミナーで学んだ RESAS のデータを使用した班や、Google Forms で実施したアンケート結果などを使う班が見られました。1学期、2学期に続いて3回目のクラス発表会で、自信を持って発表し、質疑応答にもしっかりと対応できました。

#### ◆クラス発表会の様子



#### ◆質疑応答の様子

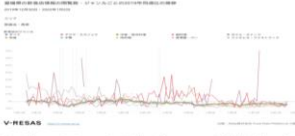


#### ◆発表ポスター

**飲食店の早期回復のために**

令和3年度 愛媛県立西条高等学校 1年1組8班

**研究背景**  
2021年現在、新型コロナウイルスの影響により、西条市の約41%もの飲食店が閉店した。



上のグラフから、ほとんどのジャンルの開業数が9%を下回っていることから、愛媛県全体の飲食店の需要が減っている。

**研究目的・意義**  
コロナが収束した後、西条市の飲食店の活気を取り戻し、コロナウイルス流行前の売り上げに早く回復させるため。

**研究結果**  
(アンケート結果)

1. 新型コロナウイルス流行前の飲食店に訪れた回数を教えてください。

週1以上	20
2週間以上	20
3週間以上	20
4週間以上	20
半年以上	5

2. 新型コロナウイルス流行期間中に飲食店に訪れた回数を教えてください。

週1以上	7
2週間以上	16
3週間以上	20
4週間以上	20
半年以上	20

114人に取ったアンケートのグラフを比較すると、新型コロナウイルス流行前より、どの項目においても流行後のほうが飲食店に訪れる回数が減少したことがわかる。

(影響を受けたほかの商店街での方策)  
・幸運町商店街(岡山県岡山市)での地元需要の掘り起

### プレ課題研究学年発表会

2月7日、ZOOMでホームルーム教室と繋いで行いました。西条市役所の方々にも参観していただき、発表の講評をいただきました。コロナ禍を反映して、医療や経済をテーマに設定した班が多いのが今年の研究の特徴でした。発表後には質疑応答が活発に行われ、1年間の成長を感じる発表会になりました。

#### ◆代表班発表テーマ

組	分野	発表テーマ
1	経済	STUDYCAFEから商店街の活性化へ
2	医療	小さな悩みの種を見逃さないために
3	医療	問診表が入口だ！！
4	医療	がん検診を西条市民に受診してもらうには
5	医療	幸福度による精神的な苦痛・自殺の対処法
6	医療	未来をつなぐ検診案内 ～数字に着目した検診者増加法～
7	経済	商店街を活性化させるために ～新たな施設開発～

### えひめスーパーハイスクールコンソーシアム 2021

1月25日、オンラインで県内の中学、高校が参加して、各校の取組や研究成果について意見交換をしました。普段交流の機会がない中学生の発表を聞いたり、大学生と意見交換をしたり、有意義な時間になりました。

#### ◆意見交換の様子

